

1. 科目名（単位数）	生徒指導特論（2単位）	3. 科目番号	EDMP5344
2. 授業担当教員	【池袋】大島 聡 【名古屋】石崎 達也		
4. 授業形態	講義・演習・集団討論	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	「学級経営学特論」と合わせて履修することが望ましい。		
7. 講義概要	近年、子供たちを取り巻く環境が大きく変化する中で、生徒指導は、一人一人が抱える個別の困難や課題に向き合い、「個性の発見とよさや可能性の伸長、社会的資質・能力の発達」に資する重要な役割を有している。本講義では、まず、生徒指導を構成する①生徒指導の基礎、②生徒指導と教育課程、③生徒指導体制に関する理論的枠組みについて概説する。次に生徒指導上の個別の課題を取り上げ、生徒指導を2つの構造的観点（①常態的・先行的（プロアクティブ）生徒指導、②即応的・継続的（リアクティブ）生徒指導）から考察する。さらに、児童生徒理解や問題行動のとらえ方、児童生徒と教師の教育的関係の構築に関する理論・実践を検討・分析する中で、受講者各自の生徒指導への関心・問題意識をもとにした研究テーマに関する指導・助言も行う。		
8. 学習目標	教師による生徒指導は、個人的な経験に偏ることなく、教育的事象を検討・分析する力と、その結果に基づいて諸問題を解決することが求められる。一方で生徒指導は児童生徒の育成にかかわる活動であるため、理論と実践を有機的に結びつけることが求められる。そのため本講義では、生徒指導に関する理論の理解のみならず実践的な方法や技術を身につけることを目指す。主な学習目標は次の4点である。 1. 生徒指導に関し、先行研究の分析・考察を行うとともに、その特質について、多角的な視点から捉え、批判的な視点をもちつつ論じることができる。 2. 発達段階に応じた児童生徒理解のあり方について、理論・方法を分析・考察するための先行研究を分析・考察し、批判的な視点をもちつつ多角的な視点から論じることができる。 3. 教育課程外の実践活動（生徒指導、キャリア教育、教育相談）の構造と内容について、多角的な視点から論じることができる。 4. 個々の事例における児童生徒の問題行動の特徴や課題に応じて、自ら予防・解決に向けた対策を立てることができる。		
9. アサシメント（宿題）及びレポート課題	事前に配布された資料は、熟読し、要点を報告できるようにしておくこと。また、次の内容については予習しておくことが望ましい。 ・児童生徒の問題行動の現状と課題 ・現代の若者が抱えている諸問題に関する課題と支援策 ・進路指導とキャリア教育 ・教育相談		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 文部科学省『生徒指導提要』2022（令和4）年12月。＊文科省HPより閲覧・ダウンロード可能 【参考文献】 文部科学省『生徒指導提要』教育図書、2011年。＊文科省HPより閲覧・ダウンロード可能 文部科学省『小学校 キャリア教育の手引き』2022年。＊文科省HPより閲覧・ダウンロード可能 楠本恭久編著『新 生徒指導論 12講』福村出版、2009年。 広岡義之編著『教育実践に役立つ生徒指導・進路指導論 ―「生徒指導提要」に触れつつ』あいり出版、2013年。 日本生徒指導学会『現代生徒指導論』学事出版、2015年。 角田豊他著『子どもを育む学校臨床力：多様性の時代の生徒指導・教育相談・特別支援』創元社、2016年。 角田豊他著『子どもとの関係性を読み解く 教師のためのプロセスレコード：学校臨床力を磨く自己省察とグループ省察会』金子書房、2019年。 ＊その他、発展的学習のための資料や参考書は必要に応じて授業の中で紹介する。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 生徒指導に関し、先行研究の分析・考察を行うとともに、その特質について、多角的な視点から捉え、批判的な視点をもちつつ論じることができたか。 2. 発達段階に応じた児童生徒理解のあり方について、理論・方法を分析・考察するための先行研究を分析・考察し、批判的な視点をもちつつ多角的な視点から論じることができたか。 3. 教育課程外の実践活動（生徒指導、キャリア教育、教育相談）の構造と内容について、多角的な視点から論じることができたか。 4. 個々の事例における児童生徒の問題行動の特徴や課題に応じて、自ら予防・解決に向けた対策を立てることができたか。 ○評定の方法 1. 成績評価は、①授業態度(30%)、②課題レポート(40%)、③研究発表(30%)の成果によって決められる。 2. 大学院修士課程のレポートとして一定の基準に満たないものについては、基準を満たすまで書き直しが求められる。		
12. 受講生へのメッセージ	大学院では「先行研究の読解力」「論理的思考力」「学術的文章の作成力」の向上が求められている。受講生は、研究論文作成に向け、講義に受け身の姿勢で臨むのではなく、自ら進んで文献・資料収集、調査研究を行うなど、試行錯誤しながら学びを深めていかなければならない。そこで、本講義でも教育研究に求められる諸能力を高められるように指導・助言を行う。さらに、秋期の「学級経営学特論」と合わせて履修することにより、生徒指導の視点を取り入れた学級経営のあり方についてより深く学ぶことができるだろう。		
13. オフィスアワー	大島 聡：事前にアポイントをとってください E-mail: akiraoshima @ ed.tokyo-fukushi.ac.jp 石崎達也：事前にアポイントをとってください E-mail: taishiza @ ed.tokyo-fukushi.ac.jp		

14. 学習の展開及び内容【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】	
1. テーマ	生徒指導特論を学ぶ目的
【学習の目標】	生徒指導における教職員・学校関係者に求められる資質・能力・役割について理解する。
【学習の内容】	講義ガイダンス、アイスブレイキング、グループ討議を行う。
【キーワード】	生徒指導 異質性 価値観 共有
【学習の課題】	講義内容の要点を整理し、小レポートにまとめること。
【参考文献】	授業内で配布する「参考文献一覧」を参照
【学習する上での留意点】	学習に際し、常に自らの問題意識を明らかにするよう努力する。
2. テーマ	生徒指導の基礎（１）
【学習の目標】	生徒指導の意義と構造について理解する。
【学習の内容】	生徒指導の定義と目的、構造（２軸３類４層構造）について学ぶ。
【キーワード】	人格の尊重 個性の発見 よさや可能性の伸長 社会的資質・能力の獲得 自己実現
【学習の課題】	講義内容の要点を整理し、小レポートにまとめること。（教科書 第１章 pp.12-23）
【参考文献】	授業内で配布する「参考文献一覧」を参照
【学習する上での留意点】	2010年度版の「生徒指導提要」との相違点に留意すること。
3. テーマ	生徒指導の基礎（２）
【学習の目標】	生徒指導の方法と取り組み上の留意点について理解する。
【学習の内容】	生徒指導の具体的な方法について学ぶ。
【キーワード】	児童生徒理解 集団指導と個別指導 ガイダンスとカウンセリング
【学習の課題】	講義内容の要点を整理し、小レポートにまとめること。（教科書 第１章 pp.23-38）
【参考文献】	授業内で配布する「参考文献一覧」を参照
【学習する上での留意点】	2010年度版の「生徒指導提要」との相違点に留意すること。
4. テーマ	生徒指導と教育課程
【学習の目標】	生徒指導と教育課程との関連について理解する。
【学習の内容】	生徒指導と教科の指導、道徳教育、総合的な学習（探究）の時間、特別活動との関連について学ぶ。
【キーワード】	学習指導要領 学習指導 学級・ホームルーム経営 道徳教育 特別活動
【学習の課題】	講義内容の要点を整理し、小レポートにまとめること。（教科書 第２章 pp.39-67）
【参考文献】	授業内で配布する「参考文献一覧」を参照
【学習する上での留意点】	事前学習として「学習指導要領」の要点を確認しておくこと。
5. テーマ	チーム学校による生徒指導体制（１）
【学習の目標】	チーム学校による生徒指導体制について理解する。
【学習の内容】	組織的な生徒指導の取り組みについて学ぶ。
【キーワード】	チーム学校 生徒指導部 生徒指導主事 教育相談体制 チーム支援
【学習の課題】	講義内容の要点を整理し、小レポートにまとめること。（教科書 第３章 pp.68-96）
【参考文献】	授業内で配布する「参考文献一覧」を参照
【学習する上での留意点】	インターネット等を活用し、近年の学校における生徒指導上の課題に関する情報に目を通しておくこと。
6. テーマ	チーム学校による生徒指導体制（２）
【学習の目標】	チーム学校による生徒指導体制について理解する。
【学習の内容】	組織的な生徒指導の取り組みについて学ぶ。
【キーワード】	学校危機 危機管理体制 生徒指導に関する法制度の運用 懲戒と体罰 不適切な指導 学校と家庭・地域との連携・協働
【学習の課題】	講義内容の要点を整理し、小レポートにまとめること。（教科書 第３章 pp.96-118）
【参考文献】	授業内で配布する「参考文献一覧」を参照
【学習する上での留意点】	インターネット等を活用し、近年の学校における生徒指導上の課題に関する情報に目を通しておくこと。
7. テーマ	個別の課題に対する生徒指導（１）いじめ・インターネット・携帯電話に関わる問題
【学習の目標】	いじめの定義・実情と具体的な対応及びインターネット・携帯電話に関わる問題の実情と具体的な対応について理解する。
【学習の内容】	いじめの事例を通して具体的な予防策や解決策について議論する。
【キーワード】	いじめの定義 いじめ防止対策推進法 未然防止指導 早期発見対応 ネットの匿名性・拡散性 ネットいじめ GIGA スクール構想
【学習の課題】	講義内容の要点を整理し、小レポートにまとめること。（教科書 第４章 pp.119-140, 第11章 pp.240-254）
【参考文献】	授業内で配布する「参考文献一覧」を参照
【学習する上での留意点】	インターネット等を活用し、近年の学校におけるいじめ問題（ネットいじめ含む）に関する情報に目を通しておくこと。
8. テーマ	個別の課題に対する生徒指導（２）暴力行為・少年非行
【学習の目標】	暴力行為・少年非行の定義・実情と具体的な対応について理解する。
【学習の内容】	暴力行為の事例を通して具体的な予防策や解決策について議論する。
【キーワード】	対教師暴力 生徒間暴力 対人暴力 器物損壊 未然防止指導 早期発見・早期対応 少年法
【学習の課題】	講義内容の要点を整理し、小レポートにまとめること。（教科書 第５・６章 pp.141-170）
【参考文献】	授業内で配布する「参考文献一覧」を参照
【学習する上での留意点】	インターネット等を活用し、近年の学校における暴力行為・少年非行の問題に関する情報に目を通しておくこと。

9 . テ ー マ	個別の課題に対する生徒指導（3）児童虐待
【学習の目標】	児童虐待の定義・実情と児童虐待予防のための具体的な対応について理解する。
【学習の内容】	児童虐待の事例を通して具体的な予防策について議論する。
【キーワード】	児童福祉法 児童虐待の防止等に関する法律 ネグレクト 体罰等によらない子育て マルトリートメント ヤングケアラー 通告義務
【学習の課題】	講義内容の要点を整理し、小レポートにまとめること。（教科書 第7章 pp.171-188）
【参考文献】	授業内で配布する「参考文献一覧」を参照
【学習する上での留意点】	インターネット等を活用し、近年の児童虐待に関する情報に目を通しておくこと。
10 . テ ー マ	個別の課題に対する生徒指導（4）自殺
【学習の目標】	子供・若者の自殺の実情と自殺予防のための具体的な対応について理解する。
【学習の内容】	子供・若者の自殺の事例を通して具体的な予防策について議論する。
【キーワード】	自殺対策基本法 自殺予防 TAKLの原則 心のケア
【学習の課題】	講義内容の要点を整理し、小レポートにまとめること。（教科書 第8章 pp.189-208）
【参考文献】	授業内で配布する「参考文献一覧」を参照
【学習する上での留意点】	インターネット等を活用し、近年の子供・若者の自殺に関する情報に目を通しておくこと。
11 . テ ー マ	個別の課題に対する生徒指導（5）中途退学・不登校
【学習の目標】	中途退学の定義・要因と具体的な支援策及び不登校の定義・実情と具体的な支援策について理解する。
【学習の内容】	中途退学及び不登校の事例を通して具体的な支援策について議論する。
【キーワード】	学校教育法施行規則 キャリア・パスポート 教育支援センター 地域若者サポートステーション ジョブカフェ 不登校児童生徒への支援の在り方について（通知） 社会的自立 コンサルテーション 不登校特例校 フリースクール ICTを活用した支援
【学習の課題】	講義内容の要点を整理し、小レポートにまとめること。（教科書 第9章 pp.209-220, 第10章 pp.221-239）
【参考文献】	授業内で配布する「参考文献一覧」を参照
【学習する上での留意点】	インターネット等を活用し、近年の中途退学及び不登校に関する情報に目を通しておくこと。
12 . テ ー マ	個別の課題に対する生徒指導（6）性に関する課題
【学習の目標】	児童生徒を取り巻く性に関する課題の実情と具体的な対応や支援策について理解する。
【学習の内容】	性に関する課題の事例を通して具体的な対応や対応策について議論する。
【キーワード】	性同一性障害 性犯罪・性暴力 DV 生命（いのち）の安全教育
【学習の課題】	講義内容の要点を整理し、小レポートにまとめること。（教科書 第12章 pp.255-267）
【参考文献】	授業内で配布する「参考文献一覧」を参照
【学習する上での留意点】	インターネット等を活用し、近年の性に関する課題に関する情報に目を通しておくこと。
13 . テ ー マ	個別の課題に対する生徒指導（7）多様な背景を持つ児童生徒への生徒指導
【学習の目標】	多様な背景を持つ児童生徒への生徒指導上の課題について理解する。
【学習の内容】	多様な背景を持つ児童生徒への指導・支援のあり方について議論する。
【キーワード】	発達障害 精神疾患 障害者差別解消法 合理的配慮 発達障害者支援法 学校保健安全法 児童の権利に関する条約 児童福祉法 家庭教育支援チーム 子どもの貧困 ヤングケアラー 社会的養護 外国人児童生徒
【学習の課題】	講義内容の要点を整理し、小レポートにまとめること。（教科書 第13章 pp.268-289）
【参考文献】	授業内で配布する「参考文献一覧」を参照
【学習する上での留意点】	インターネット等を活用し、近年の多様な背景を持つ児童生徒の生徒指導上の課題に関する情報に目を通しておくこと。
14 . テ ー マ	事例に学ぶ生徒指導
【学習の目標】	事例研究を通して、生徒指導に関する多角的な視点を養い、問題の発見・分析・意志決定などの問題解決能力を培うこと。
【学習の内容】	個別の事例を通して生徒指導のあり方を深く理解し、自ら予防・解決に向けた対策を立てること。
【キーワード】	事例研究法 学校臨床 自己省察 多様性 個性性 関係性
【学習の課題】	事例研究を通して学んだことを小レポートにまとめること。
【参考文献】	授業内で配布する「参考文献一覧」を参照
【学習する上での留意点】	自らの生徒指導体験を事例として報告すること。
15 . テ ー マ	ふりかえりと総括
【学習の目標】	本講義のまとめを行う。
【学習の内容】	前半で講義全体を振り返りながら討議し、後半でまとめを行う。
【キーワード】	討議とふりかえりによる学びの深化
【学習の課題】	生徒指導研究の意義と課題について討議し、自らの考えを深めること。
【参考文献】	特になし
【学習する上での留意点】	本授業で学んだことを意見交換しながらふりかえり、自分なりに総括すること。